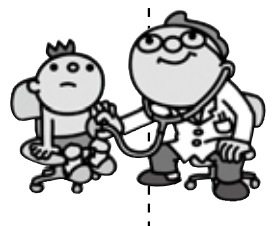


今後のまちづくりで、力を入れて取り組んでほしい施策についての質問では、「健康づくり」と地域医療体制の推進、「子育て支援の推進」、「学校教育の充実」が上位に挙げられており、関心の高さが表れています。

次いで、「公共交通ネットワークの整備」、「高齢者の自立と社会参加の支援」となっています。

今後のまちづくりで、力を入れてほしい施策



市民意向調査の結果

「選ばれる都市もおか」をめざして

**調査の概要**

- 【地域】 真岡市全域
- 【対象】 満18歳以上の市民 3000人(無作為抽出)
- 【時期】 平成30年4月～5月
- 【方法】 調査票の配布は郵送。回答は、郵送またはパソコンやスマートフォンで回答フォームに入力。
- 【回答者数】 1195人
- 【回収率】 39.8%

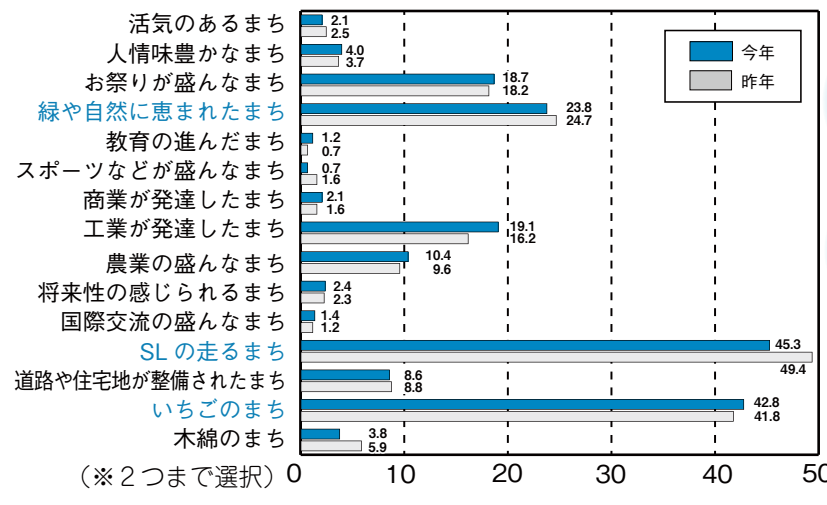
真岡市では、「JUMPUPもおか」だれもが「わくわく」する街づくりの街づくりの実現に向けて、さまざまな施策を実施しています。

市民意向調査は、施策の成果指標として、市民の皆さんの意向や満足度を把握するため、毎年実施しているものです。

質問は80項目あり、まちづくり、生活環境、公共交通、地域づくり、地域活動、福祉、医療、子育て支援など、幅広い分野にわたっています。

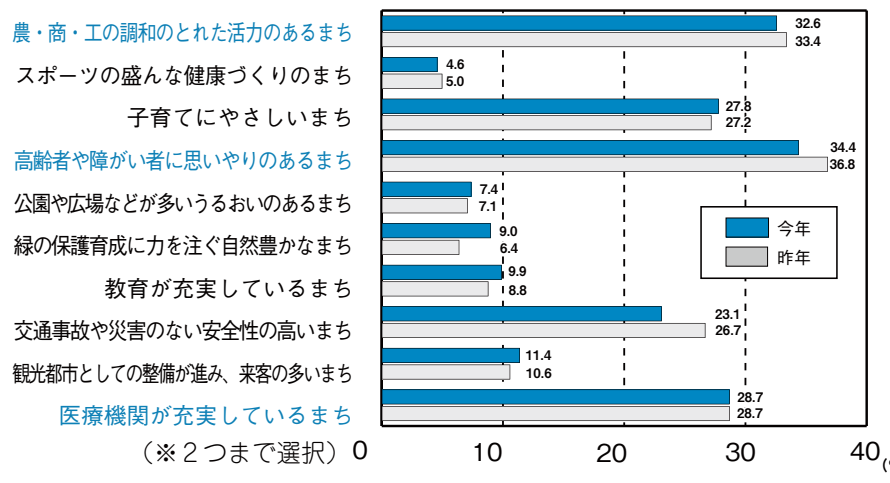
平成30年度市民意向調査の結果がまとまりましたので、その結果の一部をご紹介します。

市民意向調査とは



真岡市のイメージ

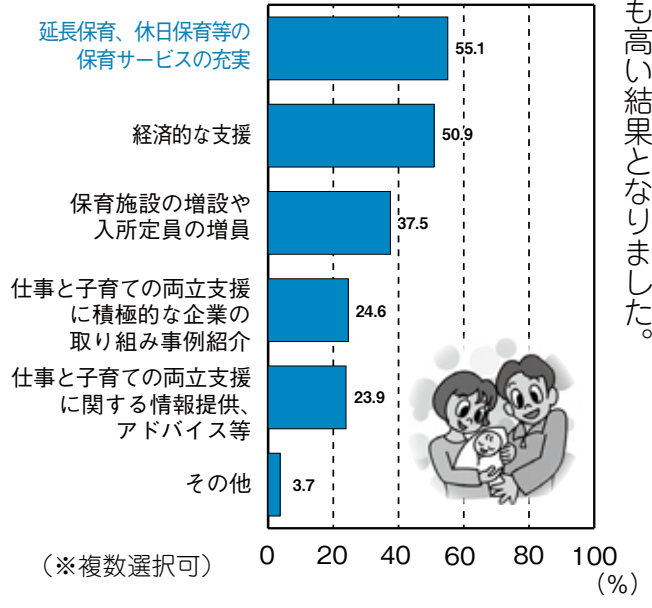
真岡市にどのようなイメージを持っているかという質問では、昨年と同様、「SLの走るまち」が最も高くなっており、「いちごのまち」「緑や自然に恵まれたまち」「工業が発達したまち」と続いています。



市が「どのようなまち」になったら良いか

真岡市が「どのようなまち」になったら良いかという質問では、「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」が最も高くなっており、「農・商・工の調和のとれた活力のあるまち」「医療機関が充実しているまち」と続いています。

仕事と子育ての両立のため、力を入れてほしい支援



仕事と子育てを両立するために、どのような支援があれば効果的だと思われるかという質問では、「延長保育、休日保育等の保育サービスの充実」が55.1%で、最も高い結果となりました。

この調査は、次年度も実施する予定です。この調査結果については、市ホームページで閲覧できます。

市民意向調査に関する問い合わせ先

企画課企画調整係

FAX 83・83・5896